

会議録

会議名(件名)		発行日	2025年 2月19日
2024年度 学校関係者評価委員会		主催	エプソン情報科学専門学校
日時	2025年2月 15日(土) 13:00~14:30	学校長承認	記録
場所	エプソン情報科学専門学校 1F 211教室	印鑑省略	印鑑省略
議題	1) 2024年度 学校行事報告 2) 2024年度 実行計画実施状況 3) 学校評価(自己評価)の共有 4) 意見交換		
出席者	(団体) 諏訪商工会議所 会頭 山谷恭博 氏 (企業) セイコーエプソン(株) 人事部長 高倉洋右氏 (卒業生) 宮本幸久氏 (保護者) 松本進志氏 (保護者) 小林俊之氏 エプソン情報科学専門学校 小林校長、野村教頭、米窪事務局長(記)		

【内容】

1. 2024年度実 学校行事について…ビデオにて報告 …野村教頭
2. 2024年度 実績報告(中期基本方針)について報告 …米窪事務局長
3. 学校関係者評価(自己評価)の説明 …米窪事務局長
4. 意見交換

1)茅野市の企業と連携した企業説明会や会社見学は、参加された企業が少なかったと感じる。

茅野市に移転している企業もあるため、もっと積極的に推進されてはどうか。

(学校回答)

今回は新たな企画として、茅野市商工会議所から提案いただいた内容であるため、実績を積んで行けば拡大していく。

学校としては、松本地区の企業と情報交換し就職先を拡大し、学生の実家周辺で就職できるよう、東信・北信エリアも含め複数社に声掛けをしている。

2)企業は若手社員の採用に苦戦し、特に技術の伝承という意味で“ものづくりの企業”では、人手不足が深刻化している。この学校の強みを活かして、ものづくりの企業で活躍できる人材を育てて欲しい。

3)退学者に対する意見交換

- ・プログラミングは一人でコツコツ作業するイメージから、チームでのディスカッションが増え、コミュニケーション能力がより必要となってきており、その役割が苦手な学生が増えているのではないか?
- ・コロナ禍では、高校生活においてそうした集団での活動や経験が少なかった事も原因の一つであり、ストレスの少ない環境を選択する傾向が強まっているのではないか?

・退学者は、メンタル不調者もいると思うので、症状ができる前に相談し易い環境を整備した方が良い。

(学校回答)

・今期は、就職や大学に進路を変更する学生が多かった。

・学生は、学科毎に構成し学科長が取り纏めてフォローするが、別にホームルーム割をしてあり、連絡事項やイベント等はホームルーム担当の職員が対応する2つの組織運営としている。

また、心のケアという意味では外部への相談が可能な旨を情報提供し、事務局員が個別相談に乗るよう促している。

・メンタルの弱い学生が増えている事は事実なので、学校医との連携も含め、再度環境を整備する。

4)追試が多かったことやエプソン特進クラスの人数が減っている事が気になる。

(学校回答)

・学年ごとにバラツキはある。

・エプソンへの入社やエプソン特進クラスを希望する学生は毎年20名ほどいる。しかし、面接時に具体的な仕事や将来取り組みたい内容を話せない学生が多い。

・授業態度や日々の取り組み姿勢、そしてテストの結果を踏まえ、数回チャレンジできる仕組みとなっており、学生が努力すればきちんと評価し、クラスに組み入れている。

5)学校の知名度をあげるような広告宣伝を充実して欲しい。

(学校回答)

・LINE広告やエリアターゲティングの時期を前倒し学生主体のインスタグラムも構築してきたが、新聞・雑誌離れ、TVを視聴しない学生が増加しているため、再度知名度を高める動きをかける。

6)海外生産の拡大や販売会社の支援業務として、英語によるコミュニケーション能力が更に求められている。

<評価結果>

評価項目	自己評価	学校関係者評価				
		教職員	保証人	卒業生	企業	団体
①学校の教育理念・目標	3.8	3.7	4.0	4.0	4.0	3.9
②学校運営	3.6	3.9	4.0	3.8	4.0	3.9
③教育活動	3.6	3.8	3.7	3.6	3.7	3.7
④学修成果	3.5	3.7	3.7	3.0	3.3	3.4
⑤学生支援	3.5	3.8	4.0	3.7	3.5	3.8
⑥教育環境	3.8	4.0	4.0	4.0	3.3	3.8
⑦学生の受け入れ募集	3.5	3.8	3.7	3.7	3.0	3.5
⑧財務	3.3	3.8	3.7	3.3	3.7	3.6
⑨法令等の遵守	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
全体	3.6	3.8	3.9	3.7	3.6	3.7
参考:昨年度	3.5	3.6	3.9	3.9	3.7	3.8

以上